

平成27年2月

園田真之 学位論文審査要旨

主査 領家 和 男
副主査 海藤 俊 行
同 永島 英 樹

主論文

山陰弥生人の頭蓋と歯の形態学的研究

(著者：園田真之、井上貴央)

平成26年 米子医学雑誌 65巻 146頁～157頁

参考論文

1. 顎関節症に対する上関節腔洗浄法の治療成績

(著者：園田真之、足本敦、倉立至、森田保久、柴田昌美、音田貢、岡本和己、
領家和男)

平成11年 鳥取県歯科医学雑誌 15巻 19頁～22頁

2. クインケ浮腫の臨床的検討

(著者：岡左登志、阪本博文、園田真之、都橋一仁、中林基、石尾ふみこ、土井理恵子、
領家和男)

平成16年 鳥取県歯科医学雑誌 17巻 41頁～44頁

3. 免疫組織化学的検討を行った頸部リンパ上皮性嚢胞の1例

(著者：園田真之、小谷勇、海藤俊行、酒井博淳、木谷憲典、田窪千子、領家和男)

平成20年 米子医学雑誌 59巻 47頁～52頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は山陰弥生人の頭蓋骨と歯冠を計測して、北部九州弥生人、山口弥生人、岡山縄文人、および九州縄文人と統計学的に比較検討し、さらに山陰弥生人が渡来系弥生人、土着系弥生人いずれの特徴を持つ集団か検討したものである。頭蓋および歯冠計測値より算出した北部九州弥生人と山口弥生人を判別する判別関数を算出した。これらの判別関数を山陰弥生人の頭蓋と歯冠の計測値に適用すると、山陰弥生人は北部九州弥生人よりも山口弥生人に類似している集団であることが示された。さらに、歯冠計測値を用いた渡来系か土着系の判別では、鳥取弥生人は渡来系弥生人の集団、島根弥生人は土着系弥生人の特徴を持つ人が一部含まれる集団であることが示唆された。本研究は山陰弥生人に対する新知見に富み、その成果は人類学的研究に貢献するとともに、明らかに学術の水準を高めたものと認められる。